

<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	研修費	広報費	広聴費
要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費

領 収

平成 29 年度

久喜市

納付書兼領収書

納 入 者	埼玉県久喜市下早見85-3					
	公明党久喜市議団 様					
会計	01 一般会計					
款 19	項 05	目 03		節 04	細節 01	細々節 01
金額	42,120 円					
内 容	タブレット通信費議員負担金（4月分から6月分 ）公明党久喜市議団					
担 当 課	140100 議会総務課					
納 入 期 限	平成 29 年 6 月 30 日					
納 入 場 所	久喜市指定金融機関・収納代理金融機関 久喜市役所・総合支所					
上記の金額を納入します。						
平成 年 月 日						
						領收日付印
						29. 7. 4
						收納済
						埼玉銀行 久喜支店 2
(納入者保管)						

添付書類

「平成29年度タブレット通信費支払い額について」

備考

久議第74号
平成29年5月22日

公明党久喜市議団
代表 岡崎克巳様

久喜市議会議長 柿沼繁男

平成29年度タブレット通信費支払い額について

標記の件について、下記のとおりお知らせいたします。

記

支払総額 168,480円（平成29年4月から平成30年3月分 5人）
【積算根拠 5,616円×1／2×12ヶ月×5人】

期別支払額

通信費（平成29年4月から平成29年6月分 5人）

支払い額 42,120円

支払期限 平成29年6月30日

通信費（平成29年7月から平成29年9月分 5人）

支払い額 42,120円

支払期限 平成29年9月29日

通信費（平成29年10月から平成29年12月分 5人）

支払い額 42,120円

支払期限 平成29年12月28日

通信費（平成30年1月から平成30年3月分 5人）

支払い額 42,120円

支払期限 平成30年3月30日

※期別納付書は後日、会計担当者にお渡しいたします。

調査研究費	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	広報費	広聴費
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/> 会議費	資料作成費	資料購入費

領 収 書 貼 付



とちぎんキャッシュサービス ご利用明細票

とちぎんをご利用いただきありがとうございます。ただいまのお取引明細は下記の通りです。どうぞお確かめください。

お取扱日	お取扱店	機 器番	銀行番号	支店番号	口座番号	お取引種類
290529	0065	052	0517	0065	2588***10901	お振込み
受付通番 1578	万円 千円	二千円 千円	500	100	50	お 取引 金額 ¥4,000
お取引時刻 13:50	通 番 008830	手 数 料 ¥324	お つり 一	お 取引 後 残高 ¥385,136		

TOCHIGI BANK 栃木銀行

裏面のご案内もあわせてご覧ください。

みずほ銀行 本店
 普通 口座番号
 コウエキサ イタシホウシ"ンテリツ"ウコウサイカイ 様へ
 コウメイトウ クギシキ"タ"ン 様から
 電話番号0480-22-2005 振込通番0000031

添付書類

第54回 社会福祉セミナー パンフレット

備考

第54回「社会福祉セミナー」受講料 振り込み手数料

第54回社会福祉セミナー

「変革」を創り出す社会福祉 一分野横断・資源開発・ソーシャルアクション—

主催 公益財団法人 鉄道弘済会 後援 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

近年、分野横断的な支援の包括化や、地域における多様なネットワーク構築と新たな資源開発が政策として推進される中、社会福祉が担う役割への期待はますます高まっている。その一方で、縦割り支援への批判や、マクロ領域における福祉専門職の実践の弱さと存在感の希薄さを指摘する声も少なからず聞かれている。また、資源開発をめぐっても「サービスの開発」ばかりが強調され、地域住民の「共同性の開発」という側面は見落とされがちである。

本来、目の前の個人や家族の「困りごと」に寄り添う支援は、制度や所属組織の限界を乗り越え、地域や社会の構造的な矛盾や欠陥に働きかけることなしには貫徹し得ない。既存の「支援」の枠組みにとらわれず、人びとの多様で複雑な生きづらさに正面から向き合い、個別、地域、社会を貫く包括的な支援とアクションを展開するところにこそ、社会福祉の専門性の根幹があるのでないだろうか。

そこで本セミナーでは、社会福祉の実践において看過されてきた多岐にわたる生活課題に焦点を当て、制度や専門性の壁を越境し、新たな領域を開拓しながら、個人と家族の支援、コミュニティづくり、政策づくりなど、あらゆるレベルにおいて必要な「変革」を創り出すための包括的な支援方法を検討してみたい。そして、地域や社会に対する働きかけ（ソーシャルアクション）を常に意識した社会福祉実践のあり方を展望してみたい。

●期 日 2017年7月28日(金)

●会 場 有楽町朝日ホール(東京都千代田区、有楽町マリオン11階)

●定 員 600名(定員になり次第締切) ●受講料 4,000円(学生は1,000円)

申込方法

鉄道弘済会ホームページ (<http://www.kousaikai.or.jp/>) からお申し込みください。同封の申込書にご記入のうえ、郵送またはFAXでのお申し込みも承っております。

お申し込みとともに、受講料をご送金ください。

■受講料の送金方法

①銀行振込 みずほ銀行 本店
(普通)

口座名 公益財団法人鉄道弘済会

②郵便振替 00140-8-143594

口座名 公益財団法人鉄道弘済会

振替用紙の通信欄に住所・氏名をご記入ください。

③現金書留 同封の申込書に必要事項をご記入のうえ、お送りください。

*受講証および領収書は、7月3日(月)から順次発送いたします。

*納入後の受講料は返却いたしかねますので、ご了承ください。
*学生の方は、当日受付にて学生証をご提示ください。

●事情により講師等が変更となる場合があります。

●ご昼食、ご宿泊等の手配は行っておりません。

●個人情報について 受講お申し込みに際してお預かりする個人情報は、受講証の発送、受講料の請求とご入金の確認、次回以降開催のご案内のみに使用いたします。

会場案内図



交通

- JR(山手線・京浜東北線)有楽町駅、中央口または銀座口
 - 東京メトロ(丸ノ内線・銀座線・日比谷線)銀座駅、C4出口
 - 東京メトロ(有楽町線)有楽町駅、D7出口
- *いずれも徒歩2分。

ホール入り口

有楽町マリオン映画館チケット売り場横のエレベーター(★)で11階までお越しください。

プログラム

9:50 10:20 10:30

12:00

13:30

17:00

受付	開会	基調対談	昼休憩	選択講座①
				選択講座②
				選択講座③

(敬称略)

基調対談

10:30~12:00

「変革」を目指す社会福祉の専門性

—性という切り口から分野横断的に実践を考える—

フリー・ソーシャルワーカー 宮本 節子

立教大学 教授 平野まさあき紹

昼休憩

12:00~13:30

12:45~13:15 大ホールにおいて本法人の事業紹介を行います。

(総合福祉センター「弘済学園」)

公益財団法人鉄道弘済会は各種の社会福祉事業を運営しております。

(2017年4月1日現在)

機関・施設別	箇所数
義肢装具サポートセンター	1
障害児入所施設(知的)等	9
保育所	21
認定こども園	3
児童養護施設	1
老人福祉施設	5
福祉施設	6
福祉資料室	1
計	47

公益財団法人鉄道弘済会は公益事業の運営を本旨とする財団法人として、1932年(昭和7年)に設立されました。

本法人の行う公益事業には、身体障害者福祉、児童福祉、知的障害児・者福祉、老人福祉などがあります。民間におけるわが国唯一の切断障害者の総合的リハビリテーション施設や全国に24か所の認可保育所・認定こども園、総合福祉センター「弘済学園」などの福祉施設の運営をはじめとして、社会福祉に関する理論と実践をつなぐ専門誌『社会福祉研究』の発行、視覚障害者用録音図書の製作奉仕者に対する顕彰事業等を行っております。

民間公益事業団体として、その時代の要請に応え、先駆的な役割を果たすとともに、ニーズの変化にも対応し、事業内容の充実に努めてまいりました。これらの公益事業に要する費用の不足分は、資産を有効活用した賃貸事業などの収益事業の益金等をもって充当しております。

選択講座①

社会福祉領域における実践の「包括化」戦略

「我が事、丸ごと」を掲げた共生型地域社会の実現が政策基調となる中で、制度や組織、専門性の枠を超えた分野横断の包括的支援や、多職種・多機関連携によるネットワークの構築が社会福祉の重要課題となっている。しかし現実には、専門職にとって、あるいは組織で働く個々のワーカーにとって、制度や組織の壁を乗り越えることは容易ではない。複雑化・多様化する福祉ニーズに対し、社会福祉はいかにその支援を「包括化」していくべきか。

そこで本講座では、自らの実践を全分野対応型に変革していく具体的な視点と手法、およびその展開戦略について参加者とともに考えていく機会としたい。

場作りネット NPO法人よこはま地域福祉研究センター	世話人 副理事長・センター長	もと 元 佐 阪 コーディネーター：駒澤大学 准教授	島 塚 い 阪 上 島 玲 井 川 生 子 雄
阪井土地開発株式会社 代表取締役		さか い か かみ れい か ひとみ か ひとみ 川 玲 井 上 生 子 雄	
コーディネーター：駒澤大学 准教授			

選択講座②

地域の共同性に根差した資源開発

介護保険・生活困窮者対策等の制度改革の中、既存の制度では対応できないニーズをもつ人との受け皿づくり、すなわち資源開発が地域福祉の急務となっている。しかし、新たな「サービス」を開発することにはさまざまな困難が伴う。そして、どんな斬新なサービスやプログラム開発も、住民の協働性や主体性に根差したものでなければ、いずれ空転することになるだろう。地域福祉の「資源」の豊富化を目指すために、コミュニティの共同性を丁寧に掘り起こし、それを支える実践が今、求められているのではないか。

そこで本講座では、既存のつながりを生かす・強化していく資源開発の方略について参加者とともに考えていく機会としたい。

まちなかドッグCAN 認定NPO法人ハンズオン！埼玉 淡路市社会福祉協議会 コーディネーター：関西学院大学 教授	代表 常務理事 参事 教授	お 小 西 岩 藤 川 城 井 幸 川 城 和 博 子 正 志 志
		お 小 西 岩 藤 川 城 井 幸 川 城 和 博 子 正 志 志

選択講座③

当事者運動に社会福祉はどうかかわるのか

—求められる役割—

日本におけるソーシャルアクションはしばしば、「当事者」たちの生きづらさ、怒りや願いを起点として、それに共感する多様な市民のサポートを受けて展開される。従来からソーシャルアクションはソーシャルワークの専門性の1つとされてきたものの、各種の運動においてソーシャルワーカーが存在感を發揮するケースが多いとは言えない。日々の個別的な支援の延長線上に、制度や構造的な矛盾を見据えた実践に向かう構えを、ソーシャルワーカーはいかに獲得するかが問われている。

そこで本講座では、各社会福祉団体の実践から、社会福祉はどのように当事者の主体性を引き出しながら運動にかかわるのか、そして、当事者からはどのような役割が求められているのかを参加者とともに考えていく機会としたい。

臨済宗建長寺派廣徳寺 社会福祉法人青丘社 NPO法人Startline.Net コーディネーター：武蔵野大学 准教授	代表役員・住職 事務局長 代表理事 准教授	しの み 三 佐 木 本 浦 藤 下 じ とも こう ゆう じ ひと すけ 生
		しの み 三 佐 木 本 浦 藤 下 じ とも こう ゆう じ ひと すけ 生

講師紹介

(敬称略)

【基調対談】

宮本節子（みやもと せつこ）
(フリー・ソーシャルワーカー)

1943年生まれ。日本社会事業大学卒業後、地方公務員福祉上級職を16年務め、1989年から全国社会福祉協議会社会福祉研修センター専任教員、1995年から2004年まで日本社会事業大学付属日本社会事業学校専任教員としてソーシャルワーカー育成に携わる。現在、「ポルノ被害と性暴力を考える会」世話人として、女性や子どもに対するポルノ被害や性暴力を訴える社会活動に取り組んでいる。

平野方紹（ひらの まさあき）

(立教大学コミュニティ福祉学部教授)

日本社会事業大学卒業、1980年埼玉県で福祉行政に従事し、1999年厚生省社会福祉専門官となる。埼玉県に帰任後、2003年日本社会事業大学助教授、2012年から立教大学准教授、2013年現職となる。

【選択講座①】

川上富雄（かわかみ とみお）
(駒澤大学文学部准教授)

1990年同志社大学文学部卒業後、岡山県社会福祉協議会、広島県社会福祉協議会、日本社会事業大学、川崎医療福祉大学を経て現職。その間、日本社会事業大学大学院博士後期課程満期退学。専門は、地域を基盤としたソーシャルワークの展開、地域アセスメント、利用者権利擁護等。

元島 生（もとしま しょう）

(場作りネット世話人、よりそいホットライン北越地域センター統括CO)

2011年、仲間とともに富山県高岡市にコミュニティハウスひとのまを設立。よりそいホットライン富山センターの立ち上げにかかわり、相談援助を行う中で、場作りの必要性を感じ、場作りネットを設立。実践や研究を行っている。

佐塚玲子（さつか れいこ）

(NPO法人よこはま地域福祉研究センター副理事長・センター長)
慶應義塾大学卒、神奈川県立保健福祉大学大学院修了。横浜市内地域ケアプラザで、デイサービス・在宅介護支援センター等の仕事を経験した後、中間支援団体に入職し市民活動支援、福祉専門職の人材養成事業を担当。2012年よこはま地域福祉研究センターを設立。

阪井ひとみ（さかい ひとみ）

(阪井土地開発株式会社・株式会社かいしゃ・阪井建設株式会社代表取締役兼任)

約20年前、長期入院精神障がい者(社会的入院)に向けた退院促進や住宅のあり方を考えるようになったのをきっかけに、岡山県内を中心には社会的弱者(高齢者、障がい者、被虐待者、ホームレス等)への住宅支援活動を行っている。NPO法人おかやまUFE副理事長、NPO法人おかやま入居支援センター理事、NPO法人岡山県精神障害者家族会連合会常任理事等務める。

【選択講座②】

藤井博志（ふじい ひろし）
(関西学院大学人間福祉学部教授)

専門分野は地域福祉論・地域福祉実践・コミュニティワーク。アクションリサーチ、フィールドワークを方法として、主に社会福祉協議会や地域活動団体、行政の現場にコンタクトし、新たな課題に対する実践開発の研究を行っている。

小川幸子（おがわ さちこ）

(まちなかドッグCAN代表、民生委員・児童委員)

1960年盛岡市生まれ。1982年臨床検査技師として、公益財団法人に入社。1998年退社。2013年民生委員・児童委員となり、2014年～2016年に盛岡市地域福祉中核人材育成講座受講後、まちなかドッグCANを立ち上げ、代表を務める。

西川 正（にしかわ ただし）

(認定NPO法人ハンズオン！埼玉常務理事、コミュニティワーカー)

学童指導員、出版社、NPO支援センター事務局長などを経て、2005年特定非営利活動法人ハンズオン！埼玉を設立。「おとうさんのやキレイモタイム」キャンペーンや市民参加型のまちづくりにかかわる一方で、研修などで講師やファシリテーターとして活動。大妻女子大学等で非常勤講師。

岩城和志（いわき かずし）

(社会福祉法人淡路市社会福祉協議会参事・生活支援体制整備事業主任生活支援コーディネーター)

1974年生まれ。一宮町社会福祉協議会(現:淡路市社会福祉協議会)に入職後、1999年より地域福祉活動専門員として従事。地域の福祉課題を捉え、住民主体の計画化を進めることにより、地域ケアシステムや小地域福祉活動の推進に取り組んでいる。主な業務担当は組織化・計画活動、権利擁護、生活福祉資金担当。

【選択講座③】

木下大生（きのした だいせい）

(武藏野大学人間科学部准教授)

筑波大学大学院博士後期課程修了、博士(リハビリテーション科学)。知的障害者、マイノリティーへのソーシャルワーク支援研究を、ミクロ、メゾ、マクロ各視点から試みている。著書に『ソーシャルワーカーのジリツ』(生活書院)など。

篠本耕二（しのもと こうじ）

(臨済宗建長寺派廣徳寺代表役員・住職、山梨県社会福祉士会ばあとなあ山梨運営委員)

東洋大学大学院福祉社会デザイン研究科博士後期課程修了、博士(社会福祉学)・社会福祉士・精神保健福祉士。約18年間社会福祉協議会の職員として勤務後、社会福祉士養成機関に勤務。現在、西武文理大学および白梅学園大学非常勤講師も兼ねている。

三浦知人（みうら ともひと）

(社会福祉法人青丘社事務局長)

川崎南部民族差別をなくす地域活動に参画。1988年、神奈川県川崎市の公的会館として差別をなくすための「ふれあい館」が開設され、そのスタッフとして働く。館長を経て、現在運営母体の社会福祉法人青丘社事務局長。

佐藤悠祐（さとう ゆうすけ）

(NPO法人Startline.Net代表理事)

1991年東京都生まれ。専門学校卒業後、介護福祉士となる。自分が性同一性障害当事者で、これまでの悩みを抱えていた経験を活かし、多様性のある福祉社会の実現を目指すNPO法人Startline.netを立ち上げ、全国で講演やイベントを行っている。

お申し込み・お問い合わせ先

公益財団法人鉄道弘済会 社会福祉第一部「社会福祉セミナー」係

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-1 TEL 03-5276-0325 FAX 03-5276-3606

E-mail fukushikenkyuu@kousaikai.or.jp URL <http://www.kousaikai.or.jp/>

調査研究費	<input checked="" type="checkbox"/>	研修費	広報費	広聴費
要請・陳情活動費		会議費	資料作成費	資料購入費

領 収 書 貼 付

<u>領 収 書</u> <u>No. 0122</u>
<p style="text-align: center;"><u>公明党久喜市議団 様</u></p> <p style="text-align: center;">¥ <u>4,000-</u> (消費税が含まれています。)</p> <p style="text-align: right; margin-top: -20px;">本法施行後は、受益者に付いた行定を基づいて受け取る旨の印を捺す。 この紙は、本法施行後は、受益者に付いた行定を基づいて受け取る旨の印を捺す。</p> <p style="text-align: center;">但し「社会福祉セミナー」受講料として 上記の金額領収いたしました。</p> <p style="text-align: center;">2017年 7月 3日</p> <p style="text-align: center;">公益財団法人 鉄道弘済会 社会福祉第一部 東京都千代田区麹町5丁目 番地 電話03-5276-0325</p>

添付書類	<p>領収書 NO.2に添付</p>
備考	

調査研究費	<input type="radio"/>	研修費	広報費	広聴費
要請・陳情活動費		会議費	資料作成費	資料購入費

別紙

旅費等に支出したため領収書を徴しがたい場合

平成29年7月28日

会派名 公明党久喜市議団
 代表者 岡崎 克巳
 経理責任者 斎藤 広子

- 1 利用者名 齋藤 広子
 2 経路及び金額（下記のとおり）
 3 旅費等に支出した目的 社会福祉セミナー参加の為

記

年月日	起点	終点	交通機関	I C	切符	単価	人数	金額
平成29年7月28日	久喜駅	有楽町駅	J R		○	840	1	840
平成29年7月28日	有楽町駅	久喜駅	J R		○	840	1	840
合 計								1680

添付書類	領収書N O. 2に添付
備考	

No.5

調査研究費	研修費	<input checked="" type="radio"/> 広報費	広聴費
要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費

領収書



日付: 2017年7月05日

領収書番号: R-1707053753

公明党久喜市議団様

ラクスル株式会社


〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
 tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥34,970-

但し 商品代として
 上記金額を正に受領いたしました。

商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
(ひまわり通信 24) チラシ・フライヤー、B4、両面カラー、光沢紙(コート), 標準: 90kg, 折り加工: 巻き3つ折り	8,000部	2017年 7月10日	¥31,920

注文内容:	商品: ¥31,920
	データチェックお急ぎ便: ¥460
	送料: ¥0
注文合計:	¥32,380
消費税:	¥2,590
ご請求合計金額:	¥34,970

(お支払い方法: コンビニ支払い)

添付書類

「さいとうふるひまわり通信 NO.24」

備考

B4 両面カラー 8000枚 3つ折り

さいとう 廣子 ひまわり通信



hiroko31102010@yahoo.co.jp

活動報告をブログで毎日更新



2017年
7月発行
公明党
NO.24号

発行元・久喜市野久喜373-3 斎藤広子
会派 公明党久喜市議団 公明党久喜支部

「大衆とともに」の立党精神を胸に、現場を駆け、声を聞き、課題に8年奮闘して参りました。私が大事にしてきたのは、生活者の視点です。

市民相談や皆さまからの要望こそ現場の声と議会で提案もしてきました。

これからも小さな声にしっかりと耳をかたむけて「希望をゆきわたらせる」政策の実現に、取り組んでまいります。



久喜市暮らしの便利帳 2017年(保存版)を発行しました!



一般質問で買い物弱者対策と官民協働事業の暮らしの便利帳の提案が実現!

市内の有料広告を掲載することにより、行政の財政負担を伴わずにを行うことができる「久喜市暮らしの便利帳」本年3回目の改訂版が発行されました。

今回の改訂には、配達・訪問サービス実施店を掲載して頂き買い物弱者対策を始め、市民の皆さんのが生活するうえで必要となる情報を必要なときに行うことができるよう、市役所での各種手続き案内等の行政情報のほか、地域の生活・観光情報を掲載したものです。是非ご活用下さい。

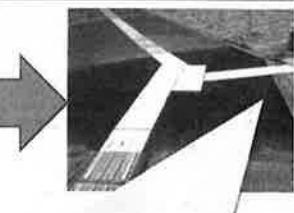


皆さまの声が実績に!

久喜工業高校横の危険な
交差点に安全対策が
実現!



カーブにライン表示と
カーブミラーを新しいも
ので見やすくなりま
した!



お問い合わせはこちら

斎藤 広子 久喜市議会議員

総務省所管の国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)を中心に、「言葉の壁」を越えたコミュニケーションの実現を目指した「多言語音声翻訳システム」が開発されました。

現在は無料のスマートフォンアプリVoiceTraとして利用が拡大しています。研究開発と大規模実験を経て、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年までに社会実装を全国展開させて参ります。是非ご利用ください。

さあ、「VoiceTra」で世界中の人と話ましょう!

バイストラは話しかけると外國語に翻訳してくれる音声翻訳アプリです。見やすい画面で操作も簡単、誤認結果が正しいかどうかから確認できます。



- ▶ 31言語に対応
- ▶ 日英中韓の他10言語の旅行会話で実用レベル(TOE-IC600点レベル)の翻訳が可能(音声認識、翻訳に人工知能を活用)

ダウンロード用
QRコード



スマートフォンアプリ
バイストラ

無料アプリ

入力した文

翻訳結果

結果の確認

Google Play
で今すぐ

App Store
からダウンロード

公明党無料法律相談

皆さまの法律相談を弁護士が
お受け致します。
予約が必要ですのでご連絡
下さい。

齊藤まで
電話 0480-22-2005

TEL&FAX 0480-22-2005 公明党久喜市議団

無年金者対策が実現へ

受給資格期間が25年から10年に！

公明党の主張が反映！！

年金が受け取れない人を減らすため、受給資格を得るのに必要な加入期間を、25年から10年に短縮する法案は、公明党の実績です！

改正年金機能強化法は、消費税率を10%に引き上げて実施する予定だった社会保障の充実策のうち、年金を受け取れない人を減らすため、消費増税に先立って今年10月の支払い分から、年金の受給資格を得るのに必要な加入期間を、25年から10年に短縮するとしています。

この法案が成立すると、今年10月の支払い分から、新たにおよそ**64万人**が年金を受け取ることができるようになります！

無年金救済のスケジュール

2016年11月・改正年金機能強化法成立

17年2月・日本年金機構が対象者に下旬ごろ～書類発送(約64万人)
■対象者は手続き

8月・改正法が施行され年金受給資格期間が10年に

10月・支給開始(9月分から)



さいとう広子の一般質問・要旨

Q 民生委員制度創設100年を迎える久喜市の取り組みは

A 民生委員負担軽減の為にも適切な方法を提供

問 高齢者世帯の把握のために住民基本台帳から閲覧し、住民状況の把握に努めているが負担軽減として当該担当地区の情報提供をすべきと思うが

答 負担の軽減になるような方法で検討させていただいて、しかるべき手続をとって提供方法の変更も検討させていただきたい。

Q 女性の視点での防災対策の充実は

A 消防防災課に女性職員を配置、防災業務に取り組む

問 女性の目線で防災対策の確立のために防災会議への女性の進出、防災リーダーの育成、防災訓練への女性の参加についての取り組みを伺う。

答 避難所管理運営、防災備蓄品整備のための久喜市女性職員によるワーキンググループを開催し女性職員同士の意見交換を行った。

Q 学校給食無償化に向けての将来の展望は

A 国の動きを十分注視してまいりたい。

問 文部科学省は学校給食の無償化に関する全国調査を行う方針を明らかにしたが、久喜市として無償化の実施に当たっての考えを伺う。

答 今後、国において行われる調査の結果についても注視してまいりたいと考えている。

Q 不登校、ひきこもりの支援体制は

A ①関係機関と連携し、適切な支援に結びつける。

問 専門相談窓口としての機能を有する支援センターの設置やアウトリーチ、訪問支援としての厚生労働省はひきこもりサポート一派遣事業を進めているこうした、きめ細かい支援を行うべきと思うが如何か

答 保健センターのほうで「不登校・ひきこもり家族の集い」という事業を行い、情報の共有を図っている。

◇その他の質問

公共施設の受付に

「多言語音声翻訳アプリボイス」

の導入を！



さいとう広子の一般質問・要旨

Q 民生委員制度創設100年を迎える久喜市の取り組みは

A 民生委員負担軽減の為にも適切な方法を提供

問 高齢者世帯の把握のために住民基本台帳から閲覧し、住民状況の把握に努めているが負担軽減として当該担当地区の情報提供をすべきと思うが

答 負担の軽減になるような方法で検討させていただいて、しかるべき手続をとつて提供方法の変更も検討させていただきたい。

Q 女性の視点での防災対策の充実は

A 消防防災課に女性職員を配置、防災業務に取り組む

問 女性の目線で防災対策の確立のために防災会議への女性の進出、防災リーダーの育成、防災訓練への女性の参加についての取り組みを伺う。

答 避難所管理運営、防災備蓄品整備のための久喜市女性職員によるワーキンググループを開催し女性職員同士の意見交換を行った。

Q 学校給食無償化に向けての将来の展望は

A 国の動きを十分注視してまいりたい。

問 文部科学省は学校給食の無償化に関する全国調査を行う方針を明らかにしたが、久喜市として無償化の実施に当たっての考えを伺う。

答 今後、国において行われる調査の結果についても注視してまいりたいと考えている。

Q 不登校、ひきこもりの支援体制は

A 関係機関と連携し、適切な支援に結びつける。

問 専門相談窓口としての機能を有する支援センターの設置やアウトリーチ、訪問支援としての厚生労働省はひきこもりサポート一派遣事業を進めているこうした、きめ細かい支援を行うべきと思うが如何か

答 保健センターのほうで「不登校・ひきこもり家族の集い」という事業を行い、情報の共有を図っている。

◇その他の質問

公共施設の受付に

「多言語音声翻訳アプリボイス」

の導入を！



調査研究費	<input type="radio"/>	研修費	広報費	広聴費
要請・陳情活動費		会議費	資料作成費	資料購入費

別紙

旅費等に支出したため領収書を徴しがたい場合

平成29年8月2日

会派名 公明党久喜市議団
 代表者 岡崎克巳
 経理責任者 斎藤広子

- 1 利用者名 岡崎克巳・斎藤広子
 2 経路及び金額（下記のとおり）
 3 旅費等に支出した目的 公会計協議会主催セミナー参加の為

記

年月日	起点	終点	交通機関	I C	切符	単価	人數	金額
平成29年8月2日	久喜駅	新宿駅	J R		<input type="radio"/>	840	2	1680
平成29年8月2日	新宿駅	市ヶ谷駅	メトロ	<input type="radio"/>		165	2	330
平成29年8月2日	市ヶ谷駅	新宿駅	メトロ	<input type="radio"/>		165	2	330
平成29年8月2日	新宿駅	久喜駅	J R		<input type="radio"/>	840	2	1680
合 計								4020

添付書類	日本公認会計士 公会計協議会主催セミナーの開催について（お知らせ） ご出欠ご回答
備考	

地方議会議員各位

平成 29 年 7 月 7 日

日本公認会計士協会
公会計協議会

日本公認会計士協会 公会計協議会主催セミナーの開催について（お知らせ）

日本公認会計士協会 公会計協議会では、公会計業務に従事する会員、地方公共団体職員、中央省庁職員、地方議会議員を対象に、「公会計財務書類の新たな活用方策 財務情報の更なる開示と効率的な行財政運営に向けて～公認会計士に求められる役割～」をテーマに下記の要領でセミナーを実施いたします。

つきましては、万障お繰り合わせのうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催趣旨

日本公認会計士協会では、地方公共団体の行財政改革に携わる専門家を多数養成する目的で公会計協議会（地方公共団体会計・監査専門部会）を発足し、2年以上が経過しました。この間に、全国の地方公共団体で財務書類の整備が進み、多くの団体で平成 29 年度までに整備完了予定です。また、平成 28 年 10 月に総務省より「地方公会計の活用のあり方に関する研究会報告書」が公表され、平成 29 年度以降、財務書類の活用を推進していくことが重要な意味を持ちます。

本セミナーでは、国・地方公共団体の先進事例や海外事例等を紹介し、地方公共団体での財務書類の活用や、公認会計士に求められる役割について検討します。

2. 日 時： 平成29年8月2日（水）14時00分～16時40分（受付 13時30分開始）

3. 場 所： 日本公認会計士協会地下1階ホール（〒102-8264 東京都千代田区九段南4-4-1）

4. 演 題：(1) 基調講演「地方財政における諸課題と地方公会計の推進について」

講師：溝口 洋 氏（総務省自治財政局財務調査課長）

(2) パネルディスカッション「公会計財務書類の新たな活用方策と公認会計士の役割」

○パネリスト：

伊澤 賢司 氏（日本公認会計士協会公会計委員会 地方公会計・監査検討専門部会長）

高橋 啓介 氏（財務省主計局法規課公会計室 課長補佐）

宮澤 正泰 氏（習志野市 会計管理者）

山浦 久司 氏（明治大学会計専門職大学院会計研究科教授）

○コーディネーター：

川口 雅也 氏（日本公認会計士協会 公会計担当研究員）

5. 受講料：無料

6. 申込期限：必要事項を明記の上、7月26日（水）までにFAX又はE-mailで申込みください。

受講申込・問合先：日本公認会計士協会
(非営利会計・監査・法規・制度グループ 村瀬)
[TEL : 03-3515-1129・FAX: 03-3515-1167]
[E-mail: kyougikai-seminar2017@sec.jicpa.or.jp]

ご出欠ご回答

研修会名称：日本公認会計士協会公会計協議会主催セミナー

日 時：平成29年8月2日（水）14時00分～16時40分

出席者数 (2 名)

(団体名) 公明党久喜市議団

(部署名)

(連絡先電話番号) () -

(氏名) 岡崎 元巳 / (役職)

(氏名) 有藤 広子 / (役職)

(氏名) / (役職)

(氏名) / (役職)

保険料領収証

領収証番号	AA53671725
証券番号	T126481201



ご契約者 (または被保険者)	公明党久喜市議団 齊藤 広子 様		
保険の種類	傷害・旅行傷害		
保険期間	始期日 (契約内容変更日) 29年 8月 22日から	満期日 29年 8月 24日まで	領収金額 ¥1,000-
払込方法等	回払 年目	回目	回分 月分
保険の対象	申込書(契約内容変更依頼書)記載に同じ 備考		

(注)手書きや訂正したものは無効です。上記保険料(領収金額欄記載の額)正に領収いたしました。

連絡先 株式会社桧家ホールディングス
東京都千代田区丸の内1-2-1 埼玉県久喜市久喜中央1-1-20
東京海上日動火災保険株式会社 久喜駅桧家ビル6階
TEL 0480-26-1101

印紙税申告納付 につき麹町 税務署承認済	領収日 29年 8月 9日
----------------------------	------------------

<ご注意>

- この保険契約の内容は、ご提出いただいた申込書(契約内容変更依頼書)に記載されたとおりですので、必ず申込書内容と一致していることをご確認ください。
- 以下の場合には、お手数ながら下記へご連絡くださいますようお願い申し上げます。
 - 手書きの場合(機械印字でない場合)、機械印字が訂正されている場合、および社印がない場合
 - ご契約後1か月以上経過しても保険証券類が届かない場合
 - 別途お届けする保険証券類の内容がご契約内容と異なっている場合

お客様相談センター
 0120-071-281 (フリーダイヤル)
受付時間: 平日 午前9時~午後8時
土日祝 午前9時~午後5時
(年末年始を除く)

視察報告書・行程表を添付

会員視察 亜山市、名古屋市立東部医療センター、桑郷 5人分 保険料

27年9月30日

久喜市議会議長 柿沼 繁男様

会派名 公明党久喜市議団
代表者名 岡崎 克巳

会派視察報告書

視察年月日	自 平成27年8月22日 至 平成27年8月24日
参加者名	岡崎 克巳・戸ヶ崎 博・矢崎 康・斎藤 広子・丹野 郁夫
視察先	亀山市・名古屋市立東部医療センター・桑名市
経費	265,220円
行程	行程表を参考
視察概要	公明党久喜市議団は過日、8月22日から同24日まで三重県、亀山市、同桑名市、愛知県名古屋市を訪ね、行政視察に行ってきましたので、内容について報告いたします。 初日の22日は亀山市を訪ねました。亀山市は、面積191.04平方キロメートル、人口は現在49,703人、29年度一般会計歳入、歳出とも約210億円です。平成17年1月に亀山市、関町が新設合併していました。県都の津市、また主要都市の四日市市、鈴鹿市から20キロメートル圏内、名古屋市から50キロメートルの位置にあります。古くは亀山宿、関宿、坂

下宿と東海道の宿場町として栄えてきました。さらに亀山城を中心に町が形成されてきました。観光客は年間30万人を数えるそうです。

視察事項は「特色ある教育活動について」であります。特にその活動の中で3点を聞きました。

1点目は、学校給食での地産地消の取り組みについてです。

亀山市は地産地消の取り組みとして、市内産、県内産の食材を多く使用した「亀山っ子給食」を実施しています。この取り組みは生産者の顔が見える学校給食として地域に根差した地産地消、子供たちの地域食材に関する知識を高め、豊かな心と体を育むために平成21年から市内自交方式、給食センター方式ともに実施しています。これは亀山市食育推進計画の取り組み目標の一つになっていました。

実施までの経緯について尋ねました。学校と野菜等の生産者と直接協議ができるよう意見交換会を開催、その後農政室、栄養士なども参加して定期的に会を重ね、当初は年4回ほどの「かめやまっこ給食を」でしたが24年度以降は年20回、実施していました。年間の給食は188回でそのうち20回ということです。

米については市内産、豚肉については市内食肉組合と協議し学校給食に三重県内北勢地域産のさくらポークを導入したそうです。25年度からは牛乳は県内産の低温殺菌牛乳にし、より高栄養価で牛乳本来の風味を味わうことができるということです。

亀山っ子給食のメニューの例としては亀山茶をつかった亀山茶ハンバーグ、亀山茶揚げパン、肉団子スープなど取り入れ、さらに新たなメニューにも挑戦していました。

子供の感想はどうか聞きました。生徒の地場産物への意識の向上と関心が高まった。と言われました。保護者の方も地産地消や安全安心な食べ物に対する意識が高まったようです。

生産者との連携について聞きました。定期的に意見交換会を開催し生産者側から市内で生産される農産物の種類収穫時期などを受け各校の栄養士が亀山っ子給食のメニューを決定していますとのことでした。また、毎年11月に試食会を行うそうです。そこには生産者の方々と子供たちが一緒に食べるそうです。

最後に課題について聞きました。天候不良等で生育不良や規格のばらつきが生じるときがある。学校側と生産者との情報交換を重ねる必要がある。農業の担い手の高齢化、又生産者からは自分たちの生産したものをお安く学校給食に納入したいとのことのようです。

亀山市の小中学校はセンター方式と自交方式と混合である。しかし亀山っ

子給食の日は残食が本当に少ないといっていました。

生産者と子供たちの楽しい給食が目に浮かぶようでした。

次に特色ある教育活動の2点目は、

亀山っ子市民宣言について聞きました。

亀山っ子宣言に関する経緯について尋ねたところ、江戸時代に亀山藩が藩校を建て、学ぶものと、教える者双方の行動規範である2言4句が作られ、武士だけでなく庶民に至ってもその趣旨が浸透した歴史の上に亀山市があるとのことでした。藩校の名前が明倫舎又は、明倫館ともいうそうで久喜市のかつての学校の名前と同じでした。平成19年に青少年市民会議定期総会で、市民総ぐるみによる草の根運動を宣言、項目は地域社会の連携を深め身近な地域で活動を充実する。とし亀山市の子供像の実現に向け大人がどう行動したらよいかということを検討したそうです。そして平成20年教定期総会で宣言を採択されたそうです。宣言の家庭掲示用のチラシを全戸配布していました。

市では宣言に基づく具体行動の計画をも策定しています。6項目ある亀山っ子宣言文をクリアファイルにして毎年新入生に配布しています。21年から宣言の具体事業の一つにサマーキャンプを実施しています。キャンプのための青年リーダーの研修、3泊4日のキャンプを22年から始めていました。文部科学省の委託金を受けての事業で場所は市内の「鈴鹿峠自然の家」で行い、ボランティアを含め200人程参加、費用は一人4500円だそうです。

参加した子供の感想は「友達と仲良くなれた。班ごとの、行動するので班の人とさらに高校生の人、中学生の人ともすごく仲良くなれた。ドラム缶風呂や炊飯体験、アロマテラピーの体験など楽しかった」といわれました。

宣言は6項目あります。「おはよう、ありがとうのいえる子・決まりや交通ルールを守る子・運動読書に親しむ子・力を合わせて仕事をする子・人や物を大切にする子・未来に夢を持ち続ける子」の6項目で、それぞれの項目に年代別の取り組みそして、実績を毎年報告して公表していました。

課題は何かと尋ねましたら特に宣言は子供のためということではなく大人がどう向き合っていくかにかかっているのです。と言われたことが大変、印象に残っています。

3点目は亀山市立関中学校改築事業についてであります。

市内には小学校11校、中学校3校、幼稚園5園、その中で関中学校は関小学校と加太小学校の2校の学区で生徒数157人です。関中学校のある所は、東海道の関宿に隣接したところにあります。

関中学校の改築は、23年3月に完成、木造2階建て、延べ床面積2629平方メートル、総事業費は11億3976万円です。

旧校舎は昭和37年建築で耐震調査の結果、建物補強が不可能と判断されて改築されたそうです。改築のために検討委員会を設置、基本コンセプトとして町と調和のとれた学校、弾力的な学習集団に対応した建築、木のぬくもりを感じる校舎にという3項目です。

説明の後、実際に学校の施設見学をさせていただきました。学校は中庭がありそれを囲むような配置です。普通教室などは1階平屋建て、職員室などはグランドが見える位置にメディアセンター、いわゆる図書室と多目的ホールここはランチルームにもなります、これらを真ん中に配置していました。

とにかく木材の使用量が素晴らしい、923立方メートル使用全て国産材、内、県産材が50パーセントとのことでした。床、壁、天井、渡り廊下、そして柱、梁すべて木質です。ランチルームの柱は8本、樹齢100年を超える丸太材で地元の山で伐採した杉の大木でした。

建設現場を生徒の学習の場に、また生徒一人一人が校舎の軒瓦に私の思いとして漢字一文字をデザインする。瓦ワークショップを行っていました。

関中学校は、三重県知事賞、さらに農林水産大臣、国土交通大臣、経済産業大臣から表彰されています。

完成から6年がたちますが本当にきれいで、生徒たちが掃除をし、本当に大切にしている様子がうかがえました。建物そのものが教育に大きくかかかわっていることを改めて強く感じました。

視察2日目は、名古屋市立、東部医療センターを訪ね、地域医療連携の取り組みについて視察しました。

名古屋市には東部と西部の二つの医療センターがあります。東部センターは年間7000件を超える救急搬送を受け入れています。西部センターは小児と周産期医療、消化器系がんに重点を置いています。

東部医療センターは、1日平均入院数395人、外来患者数903人、紹介率54.3パーセント、逆紹介率94.2パーセント。病床数498床、救急搬送数は7315件、平成25年3月より地域医療支援病院の承認を受けています。27年3月に病棟改築をし「断らない救急」の充実を図っています。さらに今、新病棟の建設を進めています。

視察事項の地域医療の取り組みについては忙しい中、田中院長さんも最後まで同席をされていただきました。

支援病院の認定要件は病床数が200床以上、他の医療機関からの紹介患

者の比率が80パーセント以上であること。あるいは紹介率50パーセント以上でかつ逆紹介率70パーセント以上であることだそうです。東部医療センターはこの要件を有しています。名古屋市は16の区があります。その内10区が主に東部センターの登録医療機関の区域です。10区からの紹介件数が28年度15196件で9割は10区からの紹介数でした。紹介、逆紹介の推移も充実が図られています。かかりつけ医の逆紹介の実績も月に100件を超え、この3年で800件から1400件になっていました。そのほかに医療機器の共同利用、CT、MRI、RIともに伸びている状況です。

講演会、研修会ともに内容もフォーラムからカンファレンスまで豊富で充実されています。

28年7月からは地域医療連携ネットワークが開始されました。医療機関の設置数は現在22機関だそうです。名前がトーブネットというもので、東部医療センターの電子カルテと各診療所等のパソコンをインターネットで結び登録医の先生方に東部センターでの患者さんの診療情報を提供するシステムの内容です。

ネットワークでカルテが閲覧できますが60日間が既定のようです。カルテ公開患者の数も年々伸びていましたが、まだまだネット設置医療機関が少ないといっていました。

地域医療センターでは広報誌「風の道」を年4回発行しています、登録医や紹介実績のある医療機関に約1000か所。新規に登録医になったところにも発送していました。病診連携の情報提供にと内容等も充実されています。

最後に病院内を案内していただきました。地域医療センターの位置は1階の玄関近くで20名の職員、女性の方が多くいました。心臓血管センター、脳血管センターを中心に救急医療体制が充実しており、また第2種感染症指定医療機関にもなっておりその病棟も案内していただきました。

地域医療連携の重要性を強く感じた視察でした。

視察3日目は、三重県桑名市を訪ねました。

視察項目は、わくわく子育て体験事業と子供子育て会議についてあります。

桑名市のまず概要ですが、平成16年に桑名市、多度町、長島町が合併し現在の桑名市に、面積136, 68キロ平方メートル、人口14万3000人ほどです。東海道53次の42番目の宿場の駅として発展、現在も国道、高速道、鉄道など集中する交通の要衝です。三重県の一番北部に位置し名古屋から25キロメートル圏内です。一般会計29年度歳入歳出とも528億8400万円ほど、議会の議員定数は26人です。

視察項目1点目、「わくわく子育て体験事業」について事業の経緯から聞きました。中学生は平成21年から始め9年目を迎える。今年は53名の中学生と53名の親子が参加。高校生は18年から実施、保育所に5月から2月まで20回ほど訪問する。中学生には親子が学校まで来ていたり、妊婦体験、親子とのふれあい、おむつ替えの体験、又助産師の話を聞くなどです。体験した生徒の様子をどうかうかがうと、妊婦ジャケットこれは20キロあるようですがお母さんになる大切さ、また赤ちゃんはあったかい赤ちゃんの大切さを感じるといわれているそうです。

高校生の場合は保育所まで生き、高校生一人に園児一人のパートナーとなって一年間を通して付き合うもので、途中で嫌いになったりうまく仲良くなれたりと様々なケースがあるようです。しかし回数を重ねると子供が宝のような存在になり、又成長が喜びになるといっていました。中学生の場合は女子が多いのですが、高校生の体験には男子生徒も参加されていました。荒れていた高校にこの事業を取り入れてからは、高校が良くなつたといっていました、この体験事業の大切さも語られました。

桑名市では子育てしやすい町を桑名市にかかわるすべての人々による全員参加型を目指して、子供子育て支援事業計画を作り、その計画の中で次世代の親の育成を見据えての体験事業ですとのことでした。

2点目は、「子供子育て会議」についてです。

桑名市子供子育て会議条例が27年7月に施行されています。条例制定の経緯について尋ねました。平成24年の国の子供子育て支援法の改正の元、市町村は審議会その他の合議制の機関を置くとなり、桑名市では会議条例を策定しそれに基づき子育て会議を設置したそうです。

条例の2条で、所掌事務、3条で組織を規定、会議の委員は保護者、子育て支援に従事する者や、学識経験者など25人、任期は2年、7条で分科会を規定しています。

28年度の様子は6回ほど子育て会議が行われて、分科会が4つのグループで開催されていました。会議では桑名市子育て支援事業計画を策定していました。町総ぐるみで子育てしやすい町づくりに懸命に取り組まれている様子が伝わってきました。

最後になりますが、3か所を今回、尋ねましたが、いずれも大変親切にまた懇切丁寧な対応に心から感謝を申し上げます。

公明党久喜市議団視察

視察期間：2017年8月22日(火)～8月24日(木)(2泊3日)

視察方面：三重県龜山市、桑名市、愛知県名古屋市

視察人数：合計5名様

22日(火) 名古屋栄東急REIホテル 愛知県名古屋市中区栄3-1-8 駐:052-251-01
23日(水) 桑名シティホテル 三重県桑名市中央町3-23 駐:0594-21-9870

8月22日(火) 三重県龜山市 午後1時30分～

・特色ある教育活動について・学校給食での地産地消の取り組み
・龜山つ子市民宣言・まちづくりと調和のとれた学校施設「関中学校」(龜山市役所)

8月23日(水) 愛知県名古屋市 午後2時～・地域医療連携について(名古屋市立東部医療センター)

8月24日(木) 三重県桑名市 午前10時～・わくわく子育て体験授業、子ども子育て会議について(桑名市役所)

月日	二旅程		
8月22日 (火)	<p>11号車 11番ABCDE</p> <p>東駕宮駅 → 久喜駅 → 東京駅 → のぞみ19号 → 関西本線 → 名古屋駅 昼食</p> <p>13:30 → 15:30 → 16:23 → 17:34</p> <p>龜山市役所(視察)</p>	朝:x 昼:名古屋市内 夕:名古屋市内	お食事等
8月23日 (水)	<p>ホテル(出発)</p> <p>名古屋東山線 美駅 → 今池駅 バス → 名古屋市立東部医療センター(視)</p> <p>16:14 → 16:39 → 18:03</p> <p>名古屋駅 → のぞみ172号 → 東京駅</p>	朝:ホテルにて 7:00～ 昼:名古屋市内 夕:桑名市内	バス 今池駅 桑名市内(夕食) 宇都宮線 久喜駅
8月24日 (木)	<p>ホテル(出)</p> <p>徒歩</p> <p>桑名駅(視)</p> <p>10:00 → 12:00</p> <p>桑名市役所(視)</p> <p>14:10 → 14:22</p> <p>名古屋駅</p>	朝:ホテルにて 7:00～ 昼:桑名市内 夕:x	13:40快速みえ12号 桑名駅(昼食) 7号車 9番DE のぞみ228号 東京駅 宇都宮線 久喜駅 東駕宮駅

<input checked="" type="checkbox"/>	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費

領 収 書 貼 付

領 収 証

公明党久喜市議団 様

No. _____

★

但

15400-

東子 14分

29年 8月 21日 上記正に領収いたしました

内 訳

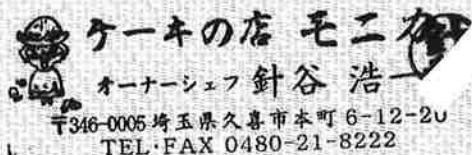
税抜金額

消費税額等(%)

取 入

印 紙

コクヨ ウケ-1097



添付書類

領收書 NO.712添付

備考

名古屋市東部医療センター、桑郷、龜山市 手土産代々(8ヶ所)

<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	研修費	広報費	広聴費
要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費

領 収 書 貼 付

No. R15-00588

領 収 証

公明党久喜市議団 御中



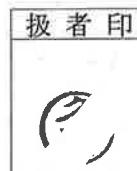
金額

¥220,070-

但し 8/22(火)-8/24(木) 亀山・名古屋・桑名
ご視察費用として

平成29年8月28日 上記正に領収いたしました。

内訳	
現金	
振替	
振込	○



添付書類

NO.7添付

備考

明細書を参考

8/22(火) 亀山市役所
8/23(水) 名古屋市立東部医療センター】2日目の視察の経過】 2日目宿泊せず岡崎克己議員 公務の為
帰りました。

ご請求明細書

公明党久喜市議団様

2017年8月4日

ご視察期間:2017年8月22日(火)~8月24日(木)(2泊3日)

ご視察方面:三重県亀山市、桑名市、愛知県名古屋市

ご視察人数:合計5名様(添乗員は同行いたしません。)

ご利用宿泊施設:22日(火)名古屋栄東急REIホテル

ご利用宿泊施設:23日(水)桑名シティホテル

株式会社 桜家ホールディングス CR事業部 旅行課
桜家トラベル 本社営業所
久喜市久喜中央1-1-20 久喜駅桜家ビル6F
TEL 0480-26-1101
総合旅行業務取扱管理者:千葉 淳一
担当 当 者:小島 穂高

項目	単価	人数/数量	料金(円)	備考
8/22(火)ご宿泊代金	11,000	5	55,000	シングル(1泊朝食付)税・サ込 名古屋栄東急
8/23(水)ご宿泊代金	8,640	4	34,560	シングル(1泊朝食付)税・サ込 桑名シティ
乗車・特急券/JR	12,590	5	62,950	8/22(火)東鷺宮→久喜→東京→名古屋→亀山
乗車券/JR	970	5	4,850	8/22(火)亀山→名古屋
乗車券/JR	350	4	1,400	8/23(水)名古屋→桑名
乗車・特急券/JR	11,830	1	11,830	8/23(水)名古屋→東京→久喜
乗車・特急券/JR	12,370	4	49,480	8/24(木)桑名→名古屋→東京→久喜・東鷺宮
合計			220,070 円	

調査研究費	研修費	広報費	広聴費
要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費

桑名市 24-205

納付書兼領収書

〒 346-8501
住所 埼玉県久喜市大字下早見 85-3
久喜市議会 公明党久喜市議団
様

年度	伝票番号			予算	会計	所属		
29	00011823			0	01	300100		
款	項	目	節	01	議会費収入			
20	04	02	細節	06	行政視察負担金			
金額	8,000 円							
所管課	議会事務局							
摘要	行政視察負担金(4名)							
発行日	平成 29年 8月 24日							

上記金額を納入します。

上記の金額を領収しました。

領収日付印



※領収日付印のないものは無効です。

(納入者保管)

桑名市 24-205

添付書類

領収書 NO.7
添付

備考

○ 調査研究費	研修費	広報費	広聴費
要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費

領 収 書 貼 付

2017年 8月22日(火)

領 収 証

公明党久喜市議団 様

¥13,950-

(消費税等 1,033円を含みます)
但し、飲食代として

名古屋栄東急REIホテル

名古屋市中区栄3丁目1番8号

TEL 052-251-0109

* 財布等で保管戴く場合、印紙
面で内側に折って保管願います。

担当者

0010-002847



東急REIホテル

添付書類

領收書 NO.7 添付

備考

会員視察 亀山市・名古屋立野病院センター、桑名市

8月22日(火) 昼食代 5人分 ※宿泊料代につきは、¥13,950で市基準¥14,800を(領収金)
 11,000円(1泊朝食付) 2,790円(夕食代) 流れいません。

<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	研修費	広報費	広聴費
要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費

領 収 書 貼 付

公明党街儀用様

領 収 証

2017年 8月23日(水)

¥11,500-

但し、飲食代として
 三喰撰酒 三重人 桑名店
 三重県桑名市中央町1丁目8番地
 TEL 0594-84-6646

担当者

0001-4806

* 財布等で保管戴く場合、印紙面で内側に折って保管願います。

添付書類

領収書NO.7に添付

備考

会派視察 皇山市、名古屋市立東部医療センター、桑名市

8/23(水) 夕食代 4人分※宿泊料代には、¥11,500で標準¥14,800を減らす。

8,640円(1泊朝食付)、2875円(夕食代)

<input type="radio"/> 調査研究費	研修費	広報費	広聴費
要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費

別紙

旅費等に支出したため領収書を徴しがたい場合

平成29年8月23日

会派名 公明党久喜市議団
 代表者 岡崎 克巳
 経理責任者 斎藤 広子

- 1 利用者名 岡崎克巳・戸崎博・矢崎康・斎藤 広子・丹野郁夫
 2 経路及び金額（下記のとおり）
 3 旅費等に支出した目的 会派視察 亀山市・名古屋市立東部医療センター・桑名市

記

年月日	起点	終点	交通機関	IC切符	単価	人數	金額
2017/8/22	名古屋駅	栄駅	市営東山線	○	200	5	1000
2017/8/23	栄駅	今池駅	市営東山線	○	200	5	1000
2017/8/23	今池	東部医療センター	名古屋市営バス	○	210	5	1050
2017/8/23	東部医療センター	今池	名古屋市営バス	○	210	5	1050
2017/8/23	今池駅	名古屋駅	市営東山線	○	240	5	1200
合計							5300

領収書 No.7添付

備考

○	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費

平成 29 年度

久喜市

納付書兼領収書	
納 入 者	埼玉県久喜市下早見85-3 公明党久喜市議団 様
会計	01 一般会計
款 19 項 05 目 03	節 04 細節 01 細々節 01
金額	42,120 円
内 容	タブレット通信費議員負担金（7月分から9月分 ）公明党久喜市議団
担当課	140100 議会総務課
納入期限	平成 29 年 9 月 29 日
納入場所	久喜市指定金融機関・収納代理金融機関 久喜市役所・総合支所
上記の金額を納入します。	
平成 年 月 日	
<p>上記のとおり領収しました。</p> <div style="text-align: right; margin-top: -20px;"> 領収日付印  <small>橋本銀行 久喜支店</small> </div>	

(納入者保管)

添付書類

平成29年度タブレット通信費支払い額について

備考

久議第74号
平成29年5月22日

公明党久喜市議団
代表 岡崎克巳様

久喜市議会議長 柿沼繁男

平成29年度タブレット通信費支払い額について

標記の件について、下記のとおりお知らせいたします。

記

支払総額 168,480円（平成29年4月から平成30年3月分 5人）
【積算根拠 5,616円×1／2×12ヶ月×5人】

期別支払額

通信費（平成29年4月から平成29年6月分 5人）

支払い額 42,120円

支払期限 平成29年6月30日

通信費（平成29年7月から平成29年9月分 5人）

支払い額 42,120円

支払期限 平成29年9月29日

通信費（平成29年10月から平成29年12月分 5人）

支払い額 42,120円

支払期限 平成29年12月28日

通信費（平成30年1月から平成30年3月分 5人）

支払い額 42,120円

支払期限 平成30年3月30日

※期別納付書は後日、会計担当者にお渡しいたします。